

令和5年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立大森第一中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・体づくり運動に重点を置いたことで、基礎体力の向上が見られた。
- ・小集団の活動を増やしたことで、教え合いの活動が増え、リーダーの育成につながった。
- ・学習カードの活用でけがの防止や学び合える学習展開などの授業改善につながられた。

(2) 課題

- ・体力の向上は見られたが、依然、基礎体力が低い現状が見られる。
- ・安全面に対する意識がやや低い。
- ・得意な生徒と苦手な生徒との取り組みの差が見られる。
- ・自己分析が低い傾向にあり、できると思っていたことができなくてけがの恐れがあった。

2 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
全体的に基礎体力が低い。また、基本的な知識が身につけていない状況がある。	協力しながら活動することができているが、練習の方法や課題解決に向けて考えていくことが苦手である。また、調べる力はあるが、言葉での表現が乏しい。	積極的に取り組んでいるが、周囲への配慮が足りず、安全面の意識がやや低い。体育学習より保健学習の意欲が低い。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎体力、基本的な知識が身につけてきている。より高度な技能の定着を目指したい。	互いに話をしながら、教え合う活動ができている。プリント等も課題解決に向けてのポイントが少しずつ記入できるようになってきている。保健では、基礎知識を応用して、自分の意見や考えを具体的に書くことが弱い。	意欲的に取り組む生徒が多いが、集中力に欠ける部分も見られる。保健学習では、ICTを活用してわからないことを調べる習慣がついてきた。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識・技能とも少しずつ向上している。より専門的な技能の取得を目指す。	自らの課題を把握し、解決に向けて互いに協力して活動することができている。	意欲的に取り組む生徒とそうでない生徒の二極化が見られる。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ランニング、補強運動を継続的に行い、基礎体力の向上を目指す。また、体育理論を通し、基本的な知識や体の使い方等を身に付けさせる。 保健においては、言葉の意味を理解させて基礎学力の向上を図る。	各運動のポイントを正確にとらえ、自己の課題を考えて取り組めるよう指導していく。 体と心について個人差があることへの理解を深めさせ、自分に適した活動や行動を見付けさせる。	授業始めのオリエンテーションをしっかりとし、目標や安全面の配慮事項を明確にする。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
継続的に体力向上に取り組んでいく。様々な動きを体験させる活動を行っていく。 授業の導入時に前時間の振り返りを行い継続的な振り返り学習を行い基礎学力の定着につなげる。	学習カードを活用し、自己の取り組みの反省や課題を挙げ、毎時間目標を設定してより高度な技能取得を図る。 振り返りの時間をしっかりと確保して、個々の考えを具体的にまとめさせるようにする。	ICT教材を活用し、より生徒の興味・関心が高まるような工夫をしたい。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ICT教材を活用し、動きのイメージができるよう工夫をし、技能向上につなげる。基本的な知識・技能を生かし、専門的な技能の取得を目指す。	2学年同様、学習カードを活用し、自己の取り組みの反省や課題を挙げ、毎時間目標を設定してより高度な技能取得を図る。	学習内容を整理し、より深く考え、「できた」「わかった」という体験を通じて、生徒たちの自尊感情を高め、将来の豊かなスポーツライフにつなげられるよう指導する。